平成２６年度　政務活動費　先進都市調査報告書

会派名	市政創造
議員名	我妻静夫･岡田健一･山川明･山中正尚･古澤孝市･徳中嗣史･早川昇三
調査実施年月日	平成26年10月16日（木）
調査先　自治体名等	鹿児島県　鹿児島市　鹿児島市立図書館　鹿児島市立科学館
調査項目	1．複合図書館･科学館について
調査目的	1．鹿児島市立図書館･科学館の概要について
報告内容 実施したこと	1　視察先（市町村）の概要 人口 ： 605,695 人（H26.4.1現在）　　行政面積 ： 547.21 k㎡ 2　視察内容 複合図書館･科学館について ①鹿児島市立図書館･科学館の概要について
感想（まとめ） 本市へ生かせること等	1．複合図書館･科学館について ①施設の目的･外観構造 鹿児島市立科学館は、平成元年に鹿児島市制１００周年の記念事業の一環として、鹿児島市立科学館と鹿児島市立図書館との複合施設の形で建設され、鹿児島を代表する火山やロケット等を科学のテーマとして取り上げ、自然界の法則、科学技術及び宇宙をわかりやすく紹介し、新鮮で感動的な出会いをとおして、科学に関する青少年の夢や創造性を育み、併せて科学知識の普及向上、啓発を図ることを目的としています。 図書館と科学館の共通要素である「情報」によって2つの施設を有機的に結んだ複合施設で、円筒形の大壁をデザインモチーフとし、外壁はタイル張り、アルミパネルで（ウレタン焼付塗装）となっており、施設内は、円形の壁、ダクトの装飾、スポット照明による光の活用など特徴的な内装となっている。 ②施設の概要 総建設費は、６０億円で科学館部分は３８億5千万円で、敷地面積は6，814㎡、建築面積は3，295㎡で延床面積は11，127㎡で科学館部分は5，981㎡となっており、鉄筋コンクリート構造で地上6階建て、高さ43．37m。 ③施設の内容 ･展示リニューアル 平成8年度、平成１5年度、平成２4年度に実施し、現在７2点を展示。 ･宇宙劇場リニューアル 平成１8年度にプラネタリウム機器の更新を実施。 世界最多規模の恒星（約1，000万個）を投影する光学式プラネタリウムとレーザープロジェクターとの世界初ハイブリットシステム。 ･フロアー構成 1階･･･1階入り口、事務室、館長室。　2階･･･入り口、受付、フーコーの振り子など。　3階･･･「地球の科学ゾーン」、実験室、工作室、多目的ルーム。　4階･･･「宇宙の科学ゾーン」、「サイエンスラボ」。　5階（6階）･･･宇宙劇場（プラネタリウム、ドームシネマ）。 2．感想 鹿児島市立図書館･科学館の複合施設を視察しましたが、この複合施設は、建設してから２4年が経過していますが展示物のリニューアルや、外観がタイル、アルミパネルで古さが感じられませんでした。現在本市でも、環境科学館の建て替えを計画しており、図書館との複合施設も検討しておりますので、今後の計画の参考にして行きたいと思います。